



宮司プレス 第六十四号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十三年 九月 三日

◇宮司の柴田です。 九月に入りましたが、残暑ことのほか厳しい昨今であります。

「秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども

風の音にぞ おどろかれぬる」

秋が来たと、目には、はつきりとは見えないけれども、風の音によって、その秋の訪れに気づかされるといふ、「古今和歌集」秋歌の巻頭歌で、藤原敏行の歌です。 立秋の日に読まれた歌で、実際には、まだ来ぬ秋を思い浮かべてよまれています。

朝明けが遅く、夜の帳(とぼり)が降りてくるのも早くなりつつありまして、日が短くなってきましたね。 朝明けの境内は、いくらかしのぎやすくなり、まさに、「秋来ぬ」と、秋の気配を感じています。

◇宮司プレスの先月号(第六十三号)に記述(きじゅつ)しましたが、文明は、災害から人類を守るために、人類が発明した「対災害システム」の別名であります。 その現代の文明ですら、東日本大震災の前には、無力でしかかも、被害を増大させたと認めざるを得ないのでですね。

「絆(きずな)」によってしか、人間は守れ

ないのではないのでしょうか。 神社神道は、

「つながりの宗教」であると思います。 私達

は、神様・大自然・自分の住んでいる場所・家

族・地域の人々・職場の仲間・さまざまな人と

深い「絆」でつながった、運命共同体としての

地域社会を構築していかなくてはなりません。

◇しかしながら、今、我々の社会では、超高齢

化と未婚化が進み、十九年後の西暦二〇三〇

年には、六十五歳以上の五人に一人が、「一人

暮らし」になると考えられています。 家族の

いない日本人が、一人で自分の「老い」に向き

合わなければならなくなるのです。

◇リビアの政治紛争に象徴されるように、中東

では、政治デモが各国に広がりました。 それ

は、「ユースバブル」といわれ、日本とは逆に

若者が増えすぎて、三つの欠如に不満を爆発さ

せたデモでありました。 その三つの欠如とは、

「自由」「情報・知識」「女性の社会参加」で

す。 短期間に広範囲に広がった要因は、実は、

「フェイスブック」といわれる、高度な情報

伝達手段です。 高度な情報とつながって、情

報の「絆」、電子共同体という新しい共助(き

ようじよ)の仕組みも、高齢者の「一人暮らし」が増え続けていく将来に向けて必要な気がします。

◇徒然草の第二百二十三段には、人間生活の基本條件が述べられています。 「第一に食ふ物、

第二に着る物、第三に居る所なり」、つまり衣

食住で、餓(う)えずに、寒さをしのぎ、風雨

(ふうう)をよけて静かに暮らす事が、生活の

基本条件であると説いています。 さらに、人

は病気になるから、医療を忘れてはならないと

説いていますね。 「薬を加へて、四つの事、

求め得ざるを貧(まず)しとす。 この四つ欠け

ざるを富めりとす。 この四つの外を求め営む

を奢(おご)りとす。」と記(しる)されています。

衣食住と薬があれば、充分であり、それ以上

望むのは贅沢(ぜいたく)であると説いている

のですね。 そして「四つの事儉約(けんやく)

ならば、誰の人も足らずとせん。」、衣食住と薬

が、つましいながら足りていれば、人間生活の

基本条件を満たしていると論(さと)している

のです。

◇私事ですが、七月二十七日の誕生日で満四十九歳となり、毎日毎日が四十年代最後の日になる

わけですから、少しセンチメンタルな気分にな

せられています。 人間の死亡率は、百パーセ

ントであり、必ずある時点で死に至ります。

私は、徒然草で述べられている、「四つの事儉

約」でありますので、「足らずとせん」と謙虚な姿勢を忘れずに、「よりよく年をとる ウェール エイジング」を心掛けたいと思います。その為には、「健康に留意し」、「QOL(生活の質の向上)」に取り組み、「社会貢献」に微力ながら努めたいと思います。

◇現代社会は、「失われた十年」という長引く経済の停滞、さらには「リーマンショック」、「大震災」、「原発事故」、まさに、不幸の連鎖であります。 神々の世界の事を「幽世(かくりよ」といいますが、それに対して、我々人間が住んでいる世界の事を現世(うつしよ」といいます。 現世は、実は、神々の理想の姿を写した世の事なのです。 従って我々は、この現世が、神々の理想の姿に近づくように努力をする、これが、生きていく上での大目標なのです。

無抵抗主義を貫いたインドの指導者「マハトマー ガンジー」は、「明日、死ぬつもりで生きなさい。 永遠に生きるつもりで学びなさい」と言われました。 不幸な連鎖の現世が、神々の理想の姿を写した世界に、近づくことが出来るように、「二日一生」の思いで、しかも積極果敢に勇敢に、生活をしたいものです。 御自愛を祈ります。

◇八月の祭典行事報告

▼月次祭 *八月一日、十五日

▼まほろば学級開催 *八月七日



▼神道家(しんとうけ) 中元祭 *八月中旬
◇九月の祭典行事予定

▼月次祭 *九月一日、十五日

▼若宮祭 *九月十日〜十一日

▼福浦金刀比羅宮月次祭 *九月十日

▼朝粥会 *九月二十一日

※下関市倫理法人会もモーニングセミナーとして参加される予定です

▼秋季祖霊祭 *九月二十三日

※家の宗旨が神道の家の合同の祖霊祭

▼貴布禰神社例祭

*九月二十二日〜二十三日

◇九月の宮司の行事会議等予定(報告も含む)

▼山口県神社庁並びに下関支部関係

◇神社関係者大会 *九月二日

◇天皇后両陛下奉迎委員会 *九月三日

◇支部二役会 *九月十三日

◇支部幹事会・支部総代敬婦役員会

*九月十六日

◇支部皇居勤労奉仕団解団式*九月十七日

◇松蔭神社上田宮司特級祝賀会

*九月二十七日

◇支部敬神婦人会茶話会 *九月二十九日

▼西ローターリークラブ

◇例会 *九月七日、十四日、二十一日、二十八日

◇メーキャンプ *九月十五日

▼講演活動

◇宮司講和会

*九月一日 ※次回は、十月一日!

◇秋季祖霊祭記念講演 *九月二十三日

◇亀尾山神社講演会(豊田町) *九月二十五日

▼当宮関係団体

◇敬神婦人会秋祭打合せ *九月二十六日

▼倫理法人会(モーニングセミナー)

*九月七日、十四日、二十一日、二十八日

▼教誨活動(美称社会復帰促進センター)

◇集日教誨(女子) *九月五日

◇神社本庁教誨師研究会

*九月八日〜九日(長崎市)

◇集日(男子) *九月二十六日

▼その他

◇下関消防団彦島分団第六部機庫点検並びに新入団員歓迎会 *九月四日